

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長 斎藤 政徳	
都整-11	重点事業	鎌倉駅東口駅前広場整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 道路課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	道路・交通体系の検討

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	鎌倉駅東口駅前広場における歩行者の安全な利用空間の改善を図るとともに、公共交通機関の利便性の向上を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 前年度からの繰越明許費により、鎌倉駅東口駅前広場実施設計等業務委託を行った。 鎌倉駅東口駅前広場整備工事、鎌倉駅東口駅前広場整備工事(土木)監理等業務委託及び鎌倉駅東口駅前広場整備工事(建築)監理等業務委託の契約を締結し、事業に着手した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	11,573	74,116	当初予算(千円)	276,520		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債		37,500	地方債	247,100		
	その他			その他			
	一般財源	11,573	36,616	一般財源	29,420		
	人員配置数	1.0	1.1	人員配置数	1.1		
	人件費(千円)	8,334	9,185	人件費(千円)	8,878		
事業経費運営	総事業費(千円)	19,907	83,301	総事業費(千円)	285,398		
	市民1人当りの経費(円)	113	472	市民1人当りの経費(円)	1,618		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 市民、商工業者、交通事業者、関係行政機関等

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・平成28年度に基本設計、平成29～30年度に実施設計を行い、平成30～32年度で工事及び工事監理を行う。 ・工事及び工事監理は、継続費を設定しており、確実な予算管理が必要である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・鎌倉駅東口駅前広場は、舗装の劣化が著しいことに加え歩道幅員が狭いため、観光客等とバス待ちの行列などが錯綜し、歩行に支障を及ぼすなど歩行環境の悪化が懸念されている状況である。 ・そのため、舗装の修繕や歩道の拡幅整備を行い、歩行エリアと滞留エリアを確保するとともに、歩行者や車両の安全性、利便性を向上を図ることとしている。また、整備にあたっては、引続き商工業者、交通事業者等の関係機関と密に調整を図り、円滑な工事進捗に努めていく。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計・実施設計時に、商工事業者や交通事業者等と調整を行い整備計画をまとめたが、工事実施に向けて、詳細に調整を図る必要がある。 建築物(バス乗降場等のシェルター)設置の支障となる地下埋設物の移設に伴い、事業者との調整が引続き必要となる。 平成31年2月議会において、広場計画の修正を求められている。 	
課題解決のために行った平成30年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 工事請負業者と契約を締結したことを受け、商工事業者や交通事業者等と調整を図った。 建築物設置の支障となる地下埋設物の所有者と調整会議を行った。一部完了したが、引続き調整を行う必要がある。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 工事着手により新たな課題等が想定されるため、都度解決に努めていきたいと考えている。 平成31年2月議会において、市民の利便性の向上を図るため、一般車の停止スペースや広場中央の交通島の撤去を求められている。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向	備考					
当該指標を設定した理由								
	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--